

小岩金網株式会社

ソイルセメント材を活用した 円形コンバック®



ソイルセメント材を利用した円形コンバック®とは

現地の発生土砂によるソイルセメント材を円形コンバック®の中詰材として使用し、もたれ式大型ブロック擁壁として活用、また土砂崩落の修繕工事や豪雨災害の復旧工事などにも利用できます。

ソイルセメント材とは、現地で発生した土砂を有効利用し、現地で土・セメント・水を混合し改良した材料です。

※円形コンバック®は旭化成アドバンス株式会社の商標です。

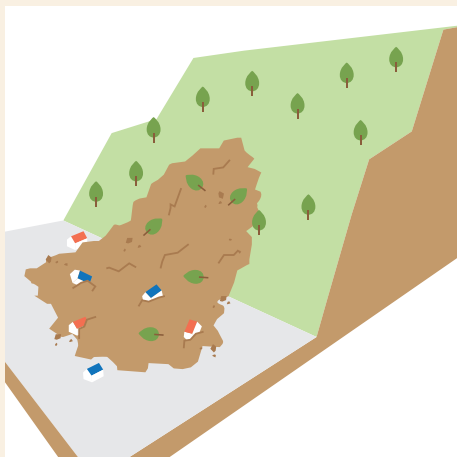


こんなお悩みありませんか？

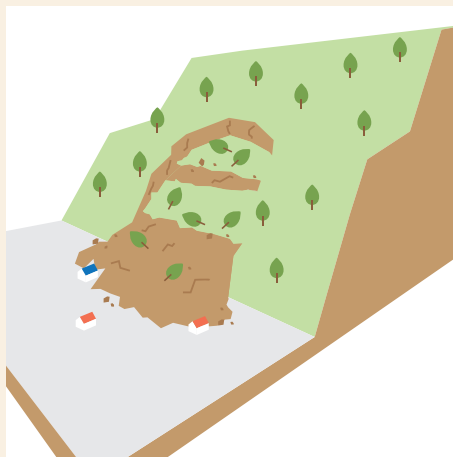
- 発生土を有効活用したい...
- 現場条件に制限がある...
- 環境負荷低減をしたい...

ソイルセメント材を利用した円形コンバック®でお悩み解決！

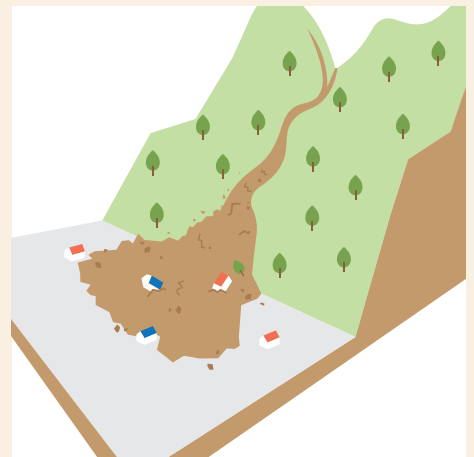
- 運搬・処分が減ることによってCO₂削減
- 狭小な林道にも搬入可能
- 現地の土砂が材料となりコスト削減
- 簡単に組立て・移設が可能のため施工期間が短縮



がけ崩れ災害



地すべり災害



土石流災害

円形コンバック®の特徴



- 橋下などの狭小地や資材運搬が困難な林道や災害現場などにも搬入が可能。
- 金網と内袋のみのシンプルな構造の製品のため軽トラックで搬入可能。
- 現地で簡単に組み立て可能。
- 翌日には移設が可能なので施工期間を短縮。
- 大きさ直径1m×高さ1m。護岸や土留め構造物を素早く構築可能。
- 円形のためR部の施工が容易で特殊型が不要。
- 配置の自由度が高く、様々な用途に利用可能。

ソイルセメントの特徴



- 発生土砂の有効活用により災害復旧などの残土処分を大幅に縮減。
- 搬出土砂の減少、搬入資材の縮減による運搬費・処分費等の縮減(CO2削減)。
- 現地の発生土砂が建設材料となるため、コスト縮減が期待できる。
- 土砂災害発生後に生産された土砂を資材として活用。
- ソイルセメント材の固化後は強固な構造物となる。

ソイルセメント材(砂質土)の製造から円形コンバック®の施工フロー

01 攪拌(配合)枡を設置 現場発生土を投入 	02 固化材を投入 	03 水を投入 	04 バイブ打設 	05 円形コンバック®打設状況 
06 養生後コア状況 	07 ホッパーによる現場打設 	08 現場打設と吊施工 平行して施工する状況 	09 円形コンバック®の土留め工 施工完了 	

ソイルセメント材の材料試験、
配合試験、試験施工の品質管理については、**土木管理総合試験所**までご相談ください。
円形コンバック®工法以外にも、**各種擁壁・法面保護・災害復旧工法**を
取り扱っておりますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせはこちら

株式会社 土木管理総合試験所 担当:GEOコンサルタント
〒387-0001 長野県千曲市雨宮2347-3 TEL:026-293-5677 FAX:026-293-6431

DK note(事業紹介・サービス情報)はこちら
<https://service.dksiken.co.jp>



AsahiKASEI
旭化成アドバンス

KOIWA
小岩金網株式会社

株式会社 土木管理総合試験所